

# 平成 25 年度事業計画書

(平成 25 年 4 月 1 日～26 年 3 月 31 日)

公益財団法人 同盟育成会

平成 25 年 3 月 13 日 理事会決定

## 【基本方針】

平成 24 年 12 月 14 日の理事会決定に基づき、新学寮建設計画の時期を繰り上げて実施に移し、平成 25 年 11 月上旬までの着工を目指す。

併せて学生寮、奨学金の両事業を通じて、経済的に修学困難な者の学業達成を支援し、もって社会に有用な人材の育成に資するよう、努める。

但し、貸与奨学金については、当財団がこれを運営する意義が薄れてきていると思われるので、将来の廃止も視野に、当面、今年度は新規募集を縮小する。

## 【管理部門】

(1) **資産運用**＝予算計上した年間 2 億 1,614 万円の事業収入を達成するため、その大半を占める金融資産については、株式を除いて、年間 3.8%程度の利息収入確保を目標に運用する。

その一方で、比較的リスクの高い仕組債等の金融資産は極力全体の 30%以内に留めることとし、財務体質の健全性を維持する。

(2) **派遣事務局員の直接雇用への切り替え**＝過去 3 年間、事務局で採用していた週 3 日勤務の派遣職員を、7 月からアルバイトとして直接雇用する。従来通り週 3 日勤務とし、経理をはじめ事務全般を担当してもらう。

(3) **事業推進体制の整備**＝公益法人制度に照らして、諸制度を点検し、運営の改善に努めるとともに、必要があれば新規程を制定するなど、引き続き事業推進体制の整備に努める。

(4) **事務所移転の検討**＝財団が入居している晩翠ビルは、老朽化して耐震性に不安があるため、移転を検討し、適当な物件があれば、年度途中でも移転する。

(5) **役員改選**＝6 月 14 日に予定している定時評議員会終結時に理事、監事の任期が満了するため、その定時評議員会で次期理事、監事を選任する。

(6) **評議員改選**＝評議員任期を平成 28 年度事業報告・決算に関する定時評議員会終結時（平成 29 年 6 月の予定）に揃えるため、4 月に評議員選定委員会を招集し、次期評議員を選任する。このため、既に、全評議員から辞任届を提出してもらっている。

## 【新学寮建設】

(1) 経緯＝東京・市谷仲之町で、定員 64 人（男子 42 人、女子 22 人）の学生寮を運営しているが、女子を中心に応募者が増加しており、これに応えるために、平成 22 年 5 月 22 日の理事会で新学寮建設計画を決定、文京区白山に用地約 1,035 m<sup>2</sup>を取得した。

同計画は、新学寮の竣工時期を平成 29 年としていたが、平成 26 年 4 月に予定される消費税増税の影響を最小限に抑えるため、平成 24 年 12 月 14 日の理事会で、計画を約 3 年間繰り上げて実施に移すことを決定した。

計画着手に当たって、株式会社山下ピー・エム・コンサルタンツ（YPMC）とプロジェクトマネジメント業務委託契約並びに監理業務委託契約を結び、基本プラン作成や業者選定を進めた。

(2) スケジュール＝消費税増税法の経過措置の適用を受けるため、9 月末までに、建設業者と請負契約を締結し、11 月上旬までに着工、平成 26 年 12 月の竣工を目指す。供用開始は平成 27 年 2 月の予定。

(3) 基本プラン＝基本プランは以下の通り。ただし、このプランは設計過程で変更される可能性あり。

### (建設予定地)

地番	文京区白山 5 丁目 12-98、12-101
アクセス	都営地下鉄三田線 千石駅から徒歩 6 分、 同白山駅から徒歩 10 分
面積	セットバック後 1035.81 m <sup>2</sup>
地域・区域	第 1 種住居地域・第 3 種高度地区・準防火地域
基準建蔽率	60%（許容建築面積 621.48 m <sup>2</sup> ）
基準容積率	160%（許容容積対象床面積 1657.29 m <sup>2</sup> ）
現況	日本パーキングに賃貸しし、コインパーキングとして活用しているが、契約期限である 10 月 15 日をもって、契約更新はしない。また、必要が生じれば、違約金を支払って、期限前に契約を打ち切る。

### (構造、延べ床面積)

鉄筋コンクリート造り。地上 5 階建て。

延べ面積 1,752.60 m<sup>2</sup>（うち容積率対象面積 1,650.89 m<sup>2</sup>）

### (与条件)

- ①用途＝男子寮。現在の市谷寮は改修して女子寮とする
- ②寮室数＝2 人部屋 27 室、定員 54 人

この他に、車いす対応寮生室 1室 定員 1人

③その他設備＝食堂、厨房、寮長室（夫婦で住み込み可）、管理人室（同）、静養室 3、寮生用共同浴室（24 時間対応）1、多目的室（通常は会議室、談話室等として使用。仕切りを外して食堂とつなげれば創立記念会等市谷寮との合同行事開催も可能）、トイレ、倉庫（3 日分の非常食備蓄倉庫を含む）、エレベーター、立体駐輪場 60 台分、バイク駐輪場 3 台分、来客用駐車場 2 台分

④耐震＝建築基準法同等（大地震の際、人命を守り、建物の倒壊を起こさないが、構造体、非構造体とも損壊する恐れがある）

(4) 費用概算＝諸設備、公租公課等も含めた総額は概算で 6 億 6,000 万円。但し、市谷寮を女子寮に改修するための費用は除く。平成 25 年度は、このうち建設業者への第 1 回支払い分として 1 億 5,180 万円、YPMC に約 1,606 万円、24 年度の仮払金振替 194 万円の計 1 億 6,980 万円程度の支出を見込んでいる。

(5) 建設資金＝建設資金は新学寮建設積立金（積立目標額は、最終年度の平成 29 年度で 7 億円。平成 24 年度末で積立累計額約 5 億円）の取り崩しなどで手当てする。

25 年度分の支出 1 億 6,980 万円は、新学寮建設積立金から 4,000 万円を取り崩し、残りは事業活動収入と前期からの繰越金で賄う。また、当初の計画で予定していた新学寮建設積立金への 8,000 万円の積み立ては見送る。

### 【学生寮事業】

(1) 新規入寮者＝平成 25 年度の入寮者は、男子 12 人、女子 6 人を受け入れる予定。24 年 1 月の学寮運営委員会で新規入寮者の選考を終えているが、辞退者や新たな退寮者が出て、欠員が生じた場合には、年度途中の再募集も検討する。

(2) 平成 26 年度新規入寮者募集＝平成 26 年度についても、25 年度の退寮予定者数に見合った人数を新規募集する。

募集時期は、24 年度よりさらに早めて、6 月から開始し、夏休みを利用して面接ができるようにする。

(3) 教育補助事業＝新入寮生との対面式・新人歓迎会（4 月）夏季キャンプ（8 月）、創立記念行事＝創立記念式、講演会、懇親会＝（10 月）クリスマスパーティー（12 月）、成人式（1 月）、退寮生送別会（2 月）、茶道教室（毎月 1 回）、Toeic 受験（秋）等を実施する。また、各行事の実施に際しては、原則として寮長、副寮長、あるいはそのいずれか 1 人が参加し、指導、監督に当たる。

- (4) 保険・衛生＝財団の負担で、寮生希望者にインフルエンザの予防接種を受けさせるなど、寮生の健康維持に努める。
- (5) 大規模修繕と改修の準備＝新学寮建設に伴う、市谷寮女子寮化への改修工事と竣工 10 周年（平成 26 年）の大規模修繕の準備をする。いずれも実施は 27 年 2 月ごろの予定。

### 【奨学金事業】

(1) 貸与奨学金＝奨学金利用者の大部分が日本学生支援機構の奨学金を受けており、それに上乗せして貸与することは、返済困難な多重債務者を増やすことになりかねない。

また、財団にとっては、返済にかかる事務負担が大きく、廃止も視野に入れて、縮小していく。

特に、今後 2 年間は、新学寮建設で資金需要が増大することから、新規採用を大幅に圧縮し、平成 25 年度の募集枠は大学、高校合わせて 10 人とする。

(2) 給与奨学金＝給与奨学金は、現在の大学院生だけでなく大学学部生にも拡大していく方針だが、新学寮建設に伴う資金需要増大を考慮し、平成 25 年度は現状維持に留める。

同年度の新規採用は 14 人を目標とし、従来通り、年 2 回の研修会を開催する。

### 【収益事業】

東京都渋谷区桜丘町の学寮跡地と同文京区白山の新学寮建設予定地を、時間貸し駐車場を経営する日本パーキング株式会社に引き続き賃貸し、収益は事業費に充当する。

ただし、白山に関しては、新学寮着工のため、平成 25 年 10 月 15 日の賃貸契約満了後は契約を延長せず、事業を終了する。

それ以前であっても、地下埋蔵物調査等で必要が生じれば、日本パーキングに違約金を払って契約を打ち切る

以上